

## 2004 シンポジウム「高齢社会を共に生きる」

### 記念講演項目・実践報告要旨

#### [ 記念講演 ]

#### 「知ってほしい痴呆への取り組み」

長谷川 和夫（はせがわ かずお）

（聖マリアンナ医科大学理事長）

（浴風会 高齢者痴呆介護研究・研修東京センター長）

（医学博士・精神保健指定医）

（長谷川式簡易知能評価スケールの開発者）

- [ 講演項目 ]
1. 痴呆とはどんな状態か
  2. 痴呆性高齢者の心理
  3. 痴呆性高齢者への接し方
  4. 痴呆性高齢者ケアの基本
  5. 痴呆症の予防

#### [ 実践報告 ]

#### 「福祉サービスを核とした21世紀型福祉の街づくり事業」

安心と多様性のある老いの暮らしの支援に向けて

森 繁樹（もり しげき）（旭川敬老園園長）

超高齢社会における生活の場としての地域社会の意味や役割を考えつつ、岡山市内の2地域において21世紀を見据えた福祉の街づくり事業を展開した。事業内容としては、両地域の特性等を勘案しながら、福祉シンポジウムや健康教室、ボランティア講座等の開催による住民への福祉啓発活動、さらに地域福祉を支える施設機能強化を図っていくことを目指した痴呆介護体制の充実、サテライトケア等を行ってきた。

（施設所在地）岡山県岡山市祇園地先

### **「住み慣れた地域で暮らす高齢社会の実現に向けて」**

小地域住民活動を中心とした地域福祉システムの構築を目指して

**平田 直之**（ひらた なおゆき）（富の里施設長）

当法人では、福岡市のベッドタウン化が進み、今後とも人口増加が予想される前原市において、老人ホームを核にモデル地域を指定して助成事業を展開してきた。

従来から居住している住民と転入してきた住民の融和、及び予測される高齢者の課題解決を目指し、「助け合いの地域づくりアンケート調査」や「世代を超えたサロンづくり」、「福祉情報の提供」、「福祉教室の開催」などを実施してきた。その過程で、地域からのニーズが高く、また支援サービスがない障害児放課後児童クラブにも取り組むこととなった。

（施設所在地）福岡県前原市富 508—4

### **「活き、粋、意気、生き、安心長寿のまちづくり」**

地域の活性化と高齢者の活性化、商店街にお達者サロン

**千葉 亨**（ちば とおる）（富の里施設長）

高齢者がもっと「安心」して「元気」に生活できる地域づくりに寄与したい。空き店舗が目立つ市街を活力ある安心長寿の街に変へる一助になりたい。そんな思いを实践するため、地域のニーズを調査し、ケアリングコミュニティ委員会において事業を検討してきた。

気軽な相談体制の確保として、商店街の空き店舗利用による「街中相談所」の開設や、薬局・薬店を身近な相談所として活用する「まちかど相談所」の再構築、介護保険制度の隙間を埋めるサービスとして「サロン事業」、「配食・移送事業」などを展開してきた。

（施設所在地）岩手県一関市真柴字武奈沢 39